童謡の里
龍野遊歩
龍野はふるさとの
香り匂うまち
「播磨の小京都」と
呼ばれている閑静な城下町です。
至中国自動車道山崎I.C.
至播磨新宮
揖保乃糸資料館
そうめんの里
国道29号
鶏籠山
(龍野古城)
聚遠亭
紅葉谷
安田青風の歌碑
龍野神社
野見宿禰神社
展望台
龍野歴史文化
資料館
龍野城
善龍寺
旧脇坂屋敷
文学の小径
霞城館・
矢野勘治記念館
裁判所
龍野
こども園
醤油の郷
大正ロマン館
三木露風生家
龍野公園
三木露風立像
市民グラウンド
赤とんぼ歌碑
有料(市営)
武家屋敷
資料館
龍野小学校
如来寺
本行寺
うすくち龍野
醤油資料館
かどめふれあい館
水神社
矢野勘治玉杯碑
龍野
動物園
内海青潮の碑
観光バス専用
普音寺
法雲寺
龍寶寺
中央公民館
圓光寺
常照寺
白鷺山公園
展望台
三木清の碑
童謡の小径
哲学の小径
片しぼ竹
十文字川
龍野図書館
源徳寺
光善寺
圓覚寺
国民宿舎
赤とんぼ荘
粒坐天照神社
県立龍野高校
下川原商店街
有料(市営)
龍野橋
醤油工場
桜づつみ
揖保川
有料(市営)
銀行
兵庫県手延素麺
協同組合
県龍野庁舎
中川原公園
龍野経済
交流センター
たつの市役所
千鳥ヶ浜公園
龍野新大橋
たつの警察署
赤とんぼ文化ホール
山陽自動車道
龍野I.C.
国道2号
福田ランプ
国道179号
祇園橋
祇園公園
畳堤
JR姫新線
旭橋
(歩道橋)
たつの
観光案内所
JR本竜野駅
レンタル
サイクル
至姫路
龍野公園への
看板を目印に
して下さい。
至上郡
県道姫路・上郡線
龍野西中学校
観光関連施設
公共施設等
観光案内看板
公衆トイレ
大型バス
通行可道路
重要伝統的建造物群
保存地区(重伝建地区)
たつの市イメージキャラクター
赤とんぼくん　あかねちゃん
たつの市・たつの市観光協会
TEL0791-64-3156
たつの市
ホームページ
たつの市観光協会
ホームページ

播磨の小京都

龍野のみどころ

兵庫県南西部に位置するたつの市龍野地区は、清流揖保川と原生林・鶏籠山（けいろうさん）など緑豊かな自然にいだかれた龍野藩5万3千石の城下町であり、「播磨の小京都」ともいわれています。

武家屋敷や白壁の土蔵、多くの先人の碑（ひ）なども残り、歴史と伝統のある風格を漂わせ、江戸時代の町家や醤油醸造施設などの産業遺産が残る龍野地区の一部は、国の重要伝統的建造物群保存地区の選定や、兵庫県の景観形成地区の指定を受けています。

また、龍野地区に接して流れる揖保川が育んだ、醤油・素麺・皮革などの伝統的産業は、たつの市を代表する産業です。

主な観光名所・旧跡

① うすくち龍野醤油資料館

昭和初期まで蔵人が使っていたこうじむろです。桶、樽など製造用具、文献、資料を一堂に展示しています。
（建物：国登録文化財　醤油蔵：県指定文化財）

② 如来寺（にょらいじ）付近

寺院、浦川、醤油蔵などがあり、より龍野らしい情緒が残っています。如来寺境内には、露風の歌碑と筆塚があります。

③ 醤油の郷 大正ロマン館

国の登録有形文化財であるこの建物は、旧龍野醤油同業組合事務所と旧醸造工場をリニューアルし、醤油の郷大正ロマン館としてオープンしました。

敷地内には「クラテラスたつの」があります。

④ 龍野歴史文化資料館

たつの市の古代から近世までの文化資料を保存公開しています。

⑤ 龍野城

鶏籠山の山城と山麓の平山城との二期に分かれ、山城は約500年前赤松村秀によって築かれ、山麓の平山城は寛文12年に信州飯田から脇坂安政公が移って築城されたものです。

龍野の象徴として、本丸御殿、白亜の白壁、多門櫓、埋門、隅櫓を復元しました。

⑥ 霞城館（かじょうかん）・矢野勘治記念館

三木露風、矢野勘治、内海青潮、三木清らの遺品、蔵書などを一堂に集め展示しています。

矢野勘治記念館は、旧制第一高等学校、西寮々歌「春爛漫」、東寮々歌「嗚呼玉杯に」を作った矢野勘治が晩年を送った自宅で、遺族により寄贈されたものです。

⑦ 旧脇坂屋敷付近

静かな落ちついた城下町「龍野」のイメージをつくり上げている白壁の古き佇まいを眺めていると、角々から今にも裃姿の侍が現われそうです。

⑧ 紅葉谷（もみじだに）

春の新緑、秋の紅葉の美しさは、訪れる人々の心を魅了します。ここから坂をのぼると両見坂、さらに近畿自然遊歩道でハイキングに最適です。

⑨ 聚遠亭（しゅうえんてい）

その昔、ここからの眺望絶佳をたたえて「聚遠の門」と呼ばれてから聚遠亭と名づけられたと伝えられています。心字池の上にある茶室（浮堂）は、庭園、池、杉垣根などと調和した書院造りを模した数寄屋風で、市指定文化財にもなっています。

⑩ 龍野神社

祭神は脇坂家の始祖、甚内安治です。安治は賤ヶ獄七本槍で有名です。10代**安董**は外様大名でただ一人老中になった傑人です。11代安宅も寺社奉行となり、龍野の繁栄を招きました。

4月には、龍野武者行列が繰り広げられます。

⑪ 野見宿禰（のみのすくね）神社

相撲（角力）の元祖で有名な野見宿禰が故郷の出雲へ帰ろうと龍野まで来たとき病死しました。その墓として川原からリレー式に人々が石を運んだそうです。その光景が「野に立つ人」「立野」といわれ、いつしか「龍野」となったといわれています。歴代の横綱等が玉垣を寄進しています。

⑫ 赤とんぼ歌碑

大正10年、露風が33才のとき、北海道トラピストより「樫の実」で発表しました。ふるさとの思い出と、幼き日の母の思い出を歌ったものと思われます。また、歌碑五線譜は作曲者山田耕筰の絶筆です。

⑬ 童謡の小径（こみち）

昭和62年7月に全国より「あなたの好きな童謡」を募集し、選出された上位8曲のメロディーが流れる歌碑を設置しました。

⑭ 白鷺山

つつじの名所です。山頂付近には、三木清の哲学碑「しんじつの秋の日照れば」、内海青潮の詩碑「何処より吹かれ来し」があります。毎朝夕と夜10時に、ここから「赤とんぼ」のメロディーが流れ「心のふるさと」を思わせます。また、眼下に揖保川の清流、播磨平野を一望に眺め、はるかに淡路島、瀬戸内海の島々を望むことができます。

⑮ 片しぼ竹

片しぼ竹とはマダケが変化したもので、節と節の間で片側は平滑で反対側に皺ができ、成長してもこれが繰り返されます。それで片皺（カタシボ）竹と呼ばれています。幕末のころ、藩主脇坂公が珍しい竹を贈られ、家老の庭前（現在の片しぼ竹の宿梅玉）に移植し、門外不出としました。全国にこの場所のみに存在し、昭和33年、文部省指定の天然記念物に指定されました。

⑯ 粒坐天照（いいぼにますあまてらす）神社

白鷺山下のこの神社には、松尾芭蕉の句碑「何の樹の　花とはしらず　にほひ哉」があります。

⑰ 龍野御坊圓光寺

宮本武蔵は、慶長年間の一時期、龍野御坊圓光寺に滞在し、境内の道場で圓明流の師範をして剣術指導をしたと伝えられています。住職の多田半三郎は武蔵から圓明流を学び印可状を授かっています。

⑱ 畳堤

龍野地区における揖保川は、住宅までの距離が短く、土手が造れないため、畳を差し込む枠だけの欄干のような堤防が昭和初期頃から設置されています。

万一の際は、住民の手で畳堤に畳をはめ込めば堤防として機能します。

【重要伝統的建造物群保存地区（重伝建地区）】

醤油醸造のまちとして栄え、江戸～昭和戦前期に建てられた建物が今なお残る龍野地区は、その一部が国の重要伝統的建造物群保存地区（重伝建地区）に選定されています。

重伝建地区の詳しい情報は たつの市ホームページ ▶

龍野のまち歩きがもっと楽しくなるアプリ「たつの市ARまち歩き」公開中!!

［iOS版］　［Android版］